

平成 16 年度 第 12 回常任理事会 速報録

日 時 平成 17 年 3 月 26 日 (土) 午後 1 時 ~ 2 時 50 分
場 所 如水会館 2F オリオンルーム
出席者 24 名 + 委任状 2 通 (定数 26 名) 顧問・参与等 12 名

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

宮城県・仙台循環器病センター等正会員の入会が 2 件と退会 10 件及び国立病院機構の再編統合が 2 件、並びに賛助会員の入会 2 件、退会 7 件について諮られ、承認された。計、正会員数は 2,693 病院 (公的 947・私的 1,746、総病床数 70 万 9980 床)、賛助会員数は 531 会員となった。

2. 厚生労働省及び各団体からの依頼について

第 34 回日本医療福祉設備学会の後援(依頼元・日本医療福祉設備協会他)等 6 件の依頼事項について諮られ、承認された。

3. 人間ドック・健診施設機能評価の認定について

北海道・札幌社会保険総合病院等 7 件の機能評価認定について評価判定報告書にもとづき諮られ、承認された。

〔協議事項〕

1. 中医協問題について

中医協の在り方に関する有識者会議が過去 2 回開かれ、星野中医協会長と有識者との議論では三者構成における病院団体の参加が医師会指名で入っている現状をどう考えているのかなどと厳しいやりとりが行われるなど、中医協のことを真剣に考えている印象がある。ここにきて、有識者の改革案を前倒しして 6 月にまとめる骨太方針に盛り込むという報道もあり、風雲急を告げてきたとして病院団体の窓口論をめぐり討議した。

その中では、ハードな勤務医と開業医との差に対する不満があり、病院団体は何をしているのかという声が出ているという問題や、公と私がつながっている日病から代表を出すべきで、終始一貫真っ当な主張をしてきたなど

と意見があった。これを執行部として受けとめ、病院団体の窓口問題に急ぎ対応することとした。

〔報告事項〕

1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

- (1) 病院経営管理者教育委員会(3/1) ...病院経営管理者の通信教育を病院管理総論、経営管理総論、経営管理演習という方向で整理する方針にしたがって、シラバスの内容や講師、レポート、試験等各論を検討した。17年度の受講生募集は現行どおりとする。
- (2) 医療経済・税制委員会(3/1) ...「手術料に含まれる材料費の占有度調査」の結果から技術料と材料費の分離請求、技術料の増額、材料費の迅速適正な加算の3点を要望し、これを広報することとした。消費税の実態調査は四病協と日医合同で計画されており、調査対象の日病会員は病院経営分析調査の定点観測病院から選ぶこととした。
- (3) 医療の非営利性検討委員会(3/3) ...医療法人の公益性をテーマに勉強会を開き、認定医療法人制度の提案内容と医療法人制度の将来について論議した。
- (4) 救急医療防災対策委員会(3/7) ...10/22長崎開催の救急医療防災セミナーについて打合せを行い、内容等を県医師会病院部会と詰めることとした。例年の委員会調査は「小児救急」を中心に企画し、来年のセミナーは茨城県で実施する予定である。
- (5) 統計情報委員会・ワーキング委員会合同委員会(3/7) ...「平成16年診療報酬改定影響度の調査報告書」を近々まとめ、公私病院連盟との「16年度病院運営実態分析調査」を発刊した。「DPC導入に伴う病院経営の手法調査」は小委員会を設置して進めることとした。
- (6) 診療情報管理士教育委員会(3/10) ...平成16年度冬期卒業試験の合格判定の結果、新カリキュラムの合格率は50%を割り卒業認定者は総計564名となった。診療情報管理士アンケートの報告書ができ上がった。基礎課程小委員会(3/7)では17年度から導入するドリル形式のレポートについて検討し、コーディング勉強会は16年度総計16地区で開催して、約3,000人の参加があった。

- (7) 予防医学委員会、人間ドック・健診施設機能評価合同委員会(3/10)
...機能評価受審 13 施設について審議し、7 施設を認定、4 施設は書類不備で継続審議、2 施設を認定保留とした。学会の法人化に向けて 4/14、学会理事会・評議員会を開催する。国際人間ドック学会の設立構想があり、来年第 1 回世界人間ドック会議を開催予定。
- (8) 対外情報委員会(3/11)...新メディア(プレスリリース)の発行を提案、「日本病院会通信」の名で 4 月中に「手術料に包括されている材料費の占有度」の調査結果を第 1 号としてリリースすることが了承された。メディアリスト先への送信となる。委員会は年度末で解散し、新年度から会長直轄の「広報宣伝部」として活動する。
- (9) 国際委員会(3/12)...アジア病院連盟のバーカー会長が来日し関係者と懇談した。インドが新加盟となり、IHF における中台問題で意見交換を行い、5 月韓国での AHF 理事会と 2 年後の韓国での IHF コングレスに全面協力することとした。
- (10) インターネット委員会(3/15、3/18)...大阪府済生会吹田病院と厚生連安城更生病院を訪問し、電子カルテや院内ネットワークの視察を行い、個人情報保護法に伴う院内の取り組みで説明を受けた。両病院とも第 55 回日本病院学会のシンポジストとして発表予定である。
- (11) 経営管理委員会(3/22)...新たな経営管理手法としてのバランスコアカードについて勉強会をもったが、病院に適用できるかという問題があり、成功事例を検討する必要もあるなどと論議した。
- (12) 人材育成委員会(3/22)...事務長及び看護管理者セミナーを本年 7/13~15、国際モダンホスピタルショウ併設として開催する予定で、内容等はこれから詰めていく。図書研究会から研究会活動の再開要望が来ており、その必要性等を調査検討することとした。
- (13) 地域医療委員会(3/23)...先月諮問された「医療計画に関する今後の検討課題」のうち、地域包括的医療提供体制をどう構築できるかという問題は、現在の各病院にある地域医療連携室は個々の医療機関内の活動にとどまっているので、行政や NPO による広域医療連携センターの設置が必要などとして答申をまとめた。
- (14) 医療制度委員会(3/25)...全社会保険病院の DPC 対応についての調査報告をきき、日病の DPC 調査に当委員会として関わることとし

た。次回診療報酬改定の要望事項の日医提出分をまとめ、初診・再診料の病診格差是正や診察料の各科算定など計 13 事項を挙げた。先月諮問のあった「医療費の総枠規制の導入に対する意見」として、その前に保険制度改革が先であるとする答申をまとめた。

(15) 研修会報告... 病院医療の質を考えるセミナー(3/4、静岡がんセンター、45名参加。同センターのQI活動などで研修)

2. 四病協諸会議の開催報告について

(1) 医療保険・診療報酬委員会(3/4)... 中医協の在り方・有識者会議に対する要望書が提案され、8人委員会に上げることとした。18年度診療報酬改定の四病協要望書は5月提出の予定。

(2) 医療制度委員会(3/15)... 医療計画の見直しに関する検討会報告をもとに、日常診療圏の設定問題などについて議論した。

(3) 総合部会(3/16)... 経産省から医療経営人材育成事業に関する委員の派遣依頼を受けて全日病から人選することとし、厚労省の「医師の需給に関する検討会」に四病協代表のオブザーバー参加を求めることとした。医療法人会計基準について四病協の意見がまとまらず各団体が対応することとし、中医協の在り方・有識者会議に対する要望書については内容等を含め再検討することとした。

(4) 日医・四病協懇談会(3/16)... 中医協の在り方に関する有識者会議や医療計画、EPA(経済連携協定)について論議し、医師需給検討会への四病協代表派遣を申し入れた。広告規制についてはネガティブリスト化を危惧し、ポジティブリストを限りなく拡大するという方向で一致したが、日病役員会としても基本的にこれを容認した。

以下の報告事項については時間の関係で項目のみ読み上げて終了した。この後代議員会・総会に移り、平成16年度補正予算と17年度事業計画及び予算案、並びに定款一部改正案について、いずれも提案どおり承認された。